



# 宝満山 ほうまんざん | 829m 福岡県



筑紫野市吉木付近から望む宝満山

山岳信仰の山でもあり、福岡市街からの公共交通機関の利便性が良いことから多くの人から愛され、九州の山の中では登山者が多い山として知られている。。

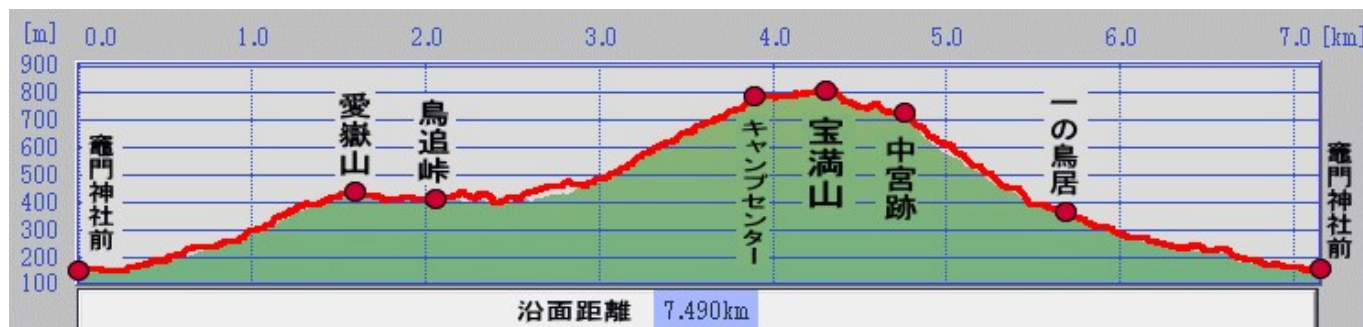
## アクセス

いくつか登山ルートがあるが、竈門神社からの登りの場合、公共交通機関を利用して登ることも出来る。西鉄大宰府線・大宰府線を下車。ここから歩いて竈門神社まで行っても良し。太宰府駅前よりバス（まほろば号）を利用して神社前まで行くことも出来る。またマイカーを使った場合は国道3合線、県道35号線で太宰府天満宮へ、更に県道578号線を経て竈門神社前駐車場に車を駐車しての登りとなる。



## レポート

竈門神社より愛嶽山、裏宝満道を経て宝満山へ（登山日 2018. 08. 14）



**参考コースタイム** 竈門神社前～35分～愛嶽山～15分～鳥追峠～1時間40分～キャンプセンター～10分～宝満山～1時間40分～竈門神社前 **参考歩行時間** 4時間20分

竈門神社前鳥居より石段を上り竈門神社境内に入る。愛嶽山へは社殿右側の道から入る。

杉の植林帯の中の道を上がっていく。豪雨により道が崩れた箇所もあるかもしれないが、ここは注意しながら進む。鉄塔の側を通り、再び上っていくと祠がある愛嶽山（おだけさん）につく。



竈門神社



愛嶽山

愛嶽山から崩れかけた赤い鳥居をくぐり進むと、鳥越峠まではなだらかな道。通り道にはまるで動物が何かの生き物のような木が通せんぼ。ここを潜るか跨ぐして進むと鳥越峠に出合う。



宝満山にはたくさんの登山ルートが存在する。

鳥越峠分岐からの行者道をはじめ、裏宝満には大谷尾根、猫谷川新道、堤谷新道、白ハゲ尾根など様々。これらを繋ぐ分岐も数多くあるので迷うこともある。

案内に従い登っていくことを薦める。

鳥越峠から行者道を上がってルートもあるが、ここはそのまま直進して大谷尾根に取付き、キャンプセンターへと上がってみよう。

直ぐに分岐が二つほど出合うが、ここは「大谷尾根」「宝満山」の案内に従い進む。ここから先のルートも崩壊してる道があるかもしれないが注意しながら進んでいく。

やがて大谷尾根に取付きここから急登の上りとなる。



鳥越峠



大谷尾根に取付く

ひたすら上りが続き、分岐にも出合う。目の前に石垣があるT字分岐に出合い、ここは右へと向かい、キャンプセンターまでのラストの上りである石段を上っていく。



T字分岐



キャンプセンター直下。最後の石段の上り。

キャンプセンターにはトイレもある。またここではテント設営して泊まることも出来る。100mほど奥の道を進むと水場もある。至れり尽くせりのこの場でお昼をここで食べ、休まれる人も多い。



キャンプセンター



奥にある水場。

キャンプセンターから道を上がり三郡山などからの縦走路に出会う。直ぐ先に鎖が掛けられた岩場に出会い、ここを上がると宝満山山頂だ。

山頂には上宮が建つ。大岩の前には山頂プレートがあり、ここで登頂記念の撮影も行える。

またここからの展望も抜群だ。福岡市街や筑紫平野、玄界灘も見渡せる。登ったこの日は視界も良く、遠くは雲仙まで望むことが出来た。

下りは正面道を下りていく。



山頂に建つ上宮。



山頂

正面道の下りは殆どが石段の下りとなる。「〇合目」の案内がずっと下まであるので、上り下りの目安としては有難いことである。

八合目の中宮跡、七合目の西院谷を下り、百段ガンギと呼ばれる石段をも下ります。

その後もひたすら長い石段の下り。吉田屋敷跡、五合目の殺生禁断碑を通り、三合目の水場に出会う。



中宮跡



百段ガンギ

自然石の石段へと変わり二合目の一の鳥居へ。林道を2回横切り、池を見ながら下りていくと再び林道に出会う。暫く林道を下っていき再び登山道へ入り、一合目の鳥居に出る。車道に出て竈門神社前へと戻る。

